



季節を知ったら
暮らしが楽しくなった

（第四五四号）

りっとう
立冬

十一月七日

招福茶屋

二十四節気は立冬、暦の上では冬に入ります。暦通り、朝夕は寒く、木々がうつすら色づいてきました。

お伊勢参りで伊勢の福を持って帰っていただくという一服どころが、おかげ横丁にお目見えしました。その名も「招福茶屋^{しやうふく}」といえます。招き猫たちが迎えてくれる店で、縁起の良い食事やスイーツが味わえます。

日本人は古くから「縁起を担ぐ^{かつ}」ことをしてきました。お節料理をはじめ、語呂合わせや色、形など縁起が良いとされてきた食材や料理があります。例えば、赤色は情熱や活力を、黄色は金運を象徴するといわれています。また、丸い形の食べ物、円満や調和を表すとされ、お祝い事によく用いられます。

招福茶屋は、三重県の手延^{ての}べそうめんやにゅうめんが味わえた浪曲茶屋が名前も一新し、リニューアルしました。店に入ると、片手を挙げ招き猫や七福神たちがざらりと並び、迎えてくれます。にこやかな顔を見ているだけで、福をもらったような気持ちになります。

メニューには、「七福にゅうめん」となによりお目出たい名前のにゅうめんも。七種類の具は、運が付くニンジン、長寿のゴボウ、錦糸玉子は黄色い色から富を築く、車海老は目出度い、お揚げは上げ上げの気持ちなど、縁起の良いものばかり。猫の肉球を模したかまぼこは、なんとも言えないかわいらしさ。由来を知ると、食べるだけで元気がでそうです。

スイーツも「福パフェ」があります。家族円満・縁結びの「招き猫最中」、財産・成功の「金箔」、商運来復の「金平糖」など、まるごと福を招いてくれるような十種の材料を使ったパフェです。

招福茶屋で「開運フード」を味わい、福をいただきたいものですね。

文 千種清美



おかげの里便り

おかげ横丁

○ 奉祝新嘗祭 第五回神恩感謝 三重新酒祭

11月23日、神宮では新嘗祭が執り行われます。

おかげ横丁では、今年の収穫を感謝して新酒を奉納し、皆様にご披露する直会の宴を開催いたします。今年の豊かな恵みを存分にお楽しみください。

※諸事情により一部変更もしくは中止する場合があります。

日 時／11月23日(日) 15:00 ～ 18:00

場 所／おかげ横丁一帯

入場券／【お愉しみチケット】 前売券：4,000円（当日券：5,000円）

※15:00～ご利用いただけます。

※10枚綴りで1枚につき日本酒1杯又は、500円分の料理やテイクアウトメニューに使えます。

【飲み比べ券】 前売券：6,500円（当日券：7,500円）

※3時間（15:00～18:00）飲み比べにブースにてお酒を飲み比べいただけます。

【当日スケジュール】

13:00～ 横丁棋院で受付（Eチケット購入の方は画面をスタッフにお見せください。）

15:00～ 日本酒の提供【飲み比べブース】

神恩太鼓演奏【太鼓櫓】

蔵元紹介、開宴の挨拶、鏡開き【太鼓櫓】

15:30～ Miss SAKE PR【太鼓櫓】

灯りのまつり 提灯点灯（夕暮れ時～20:00）

16:00～ 南町神事講獅子神楽保存会【太鼓櫓】

18:00～ 閉会

18:30～ シャトルバス（すし久→五十鈴川駅）

※18:30～20:00頃の間、五十鈴川駅までシャトルバスを運行します。（場所：すし久前）

※おかげ横丁の一部の店舗は20:00まで営業しています。

お問い合わせ／おかげ横丁催事企画部 0596-23-8827（10:00～17:00）

五十鈴塾

○ 秋の星見と土星の魅力

11月の中頃、夏の星は西に傾き、東からは冬の星が見え始めています。その間に挟まれた南の空にあるのが秋の星たちですが、1等星は南のうお座のフォーマルハウトただ1つです。しかし今年はもう1つ、土星が目立っています。今シーズンは、地球から土星の環をほぼ真横から見る15年に1度の位置関係になっていて、望遠鏡で見ても環がほとんど分かりません。この珍しい土星を観望し、映像を交えて土星の魅力をお伝えします

日 時／11月11日(火) 18:30 ～ 20:30

講 師／持田 大作（名古屋市科学館課長補佐(天文学)）

参加費／一般 1,800円 会員 1,300円（五十鈴茶屋製の和菓子付き）

場 所／五十鈴塾右王舎

講座についてのお問い合わせ・お申込み／電話 0596-20-8251

五十鈴茶屋

○ 五十鈴茶屋節気菓子

くり
栗かのこ

晩秋から初冬へと季節は移ろい、伊勢路の空に浮かぶのは明るく美しい月の姿です。大納言小豆に栗を置き、澄んだ秋の夜を表現しました。

うずら
餅

冬の足音が近づくと、野生の鶉が伊勢の里に姿を見せます。栗と粒餡を求肥で包み、愛らしい鶉の姿に仕上げました。

こう
紅

よう
葉

神路・島路の山々にも紅葉の時季が訪れ、山のふところには所々に鮮やかな赤みが見られます。二色のきんとんで山々の秋を彩りました。